



# 外務省における21世紀環境立国戦略関連 主な予算概算要求

## 戦略1

### 2013年以降の温暖化対策の国際的枠組の構築に向けた 「三原則」(注)の提案 46.5百万円

次期枠組みにつき、専門家の知見を得て議論を行う非公式会合及びG8プロセスにおける世銀、IEAも活用した具体的方策の検討会合の開催。これらの会合において次期枠組みに関するわが国の「三原則」を説明し、支持を求める。

(注) 三原則

- ・主要排出国が全て参加し、京都議定書を超え、世界全体での排出削減につなげること。
- ・各国の事情に配慮した柔軟かつ多様性のある枠組みとすること。
- ・省エネ等の技術を活かし、環境保全と経済発展とを両立すること。

### 各国の京都議定書目標達成に関する調査 5.5百万円

主要国における温室効果ガス排出削減対策の現状、見通しに関する調査を行う。

### アフリカにおける気候変動・環境問題への取組 2,740百万円

2007年のAU総会で気候変動が主要テーマになったことを受け、さらに、2008年のTICAD やG8北海道洞爺湖サミットに向けて、気候変動に脆弱なアフリカ諸国に対して緩和策及び適応策の支援を行う。